



「健康コラム」

病気と予防のお話し ～JCHO 船橋中央病院から～

第2回 成人鼠(そ)経(けい)部ヘルニアについて

消化器外科 小笠原 猛 先生

今回は成人鼠^{そけい}経(ももの付け根)部ヘルニアについてです。よく昔から一般に「脱^{だつちよう}腸」と言われて太ももの付け根が膨らむ病気です。腸が鼠径部の筋肉を掻き分けて皮膚の下に飛び出して膨らむので「脱腸」ですね。老若男女、どんな人にも発症する可能性のある病気ですが、特に中高年男性に多いのが特徴となっています。症状は患部に違和感や痛みが出たりする事があります。症状が悪化すると嵌頓^{かんどん}状態と言って飛び出した腸が筋肉で締め付けられて腸に血液が届かなくなり、腸が壊死^{えし}(体の組織や細胞が局部的に死ぬこと)する事があるので症状を感じたら診察を受けましょう。鼠径部ヘルニアの原因は多岐にわたりますが、高齢、腹圧のかかる仕事や運動、慢性的な咳、喫煙等があります。鼠径部ヘルニアの確実な予防方法は無いのですが、過度でない運動や、禁煙が発生率を下げると言われています。鼠径部ヘルニアの治療は手術治療となりますが、短期間(約4日間)で治療することが可能です。太ももの付け根が膨らむ、少し違和感や痛みが時々ある場合、一度診察を受けてはいかがでしょうか？